

授業科目名	総合的な学習の時間(2100250)		
時間割名	総合的な学習の時間(11108)		
時間割担当	矢野正		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・1		

授業の目標・概要

総合的な学習の時間について、その教育課程の中における位置づけや性格を明らかにする。また歴史的な実践、現在行われている各学校の教育実践を踏まえながら、あるべき姿をイメージできるようにする。さらに、「総合的な学習の時間」においてどのようなテーマでどのような実践を行ったらいいかイメージすることができるように、実際に地域素材の発掘や単元の構想、指導案の立案、模擬授業なども行う。

学習の到達目標

「総合的な学習の時間」においてどのようなテーマでどのような実践を行ったらいいかイメージすることができる。

授業方法・形式

1. 学習指導要領と関連して各章毎の内容を要約していく。
2. 具体的指導について小学校教材や参考図書を参照し、実践的に調べる。
3. 教育課題に広く学んでいく。

授業計画

- 第1回 「総合的な学習の時間」の成立、現状と課題
- 第2回 総合学習の源流、歴史的背景、各国における試み
- 第3回 教育課程における「総合的な学習の時間」の位置付け、テーマ
- 第4回 「総合的な学習の時間」における児童・生徒の活動および支援の在り方
- 第5回 体験学習としてのものづくり1（食べ物）
- 第6回 体験学習としてのものづくり2（地域のパンフレット・ビデオ）
- 第7回 体験学習としてのものづくり3（身近な材料を使って物づくり）
- 第8回 総合的な学習の時間で取り組む生命教育
- 第9回 各教科・各領域と総合的な学習の時間との関連1（特に道徳）
- 第10回 各教科・各領域と総合的な学習の時間との関連2（特に特別活動）
- 第11回 学校における多文化共生・国際理解教育
- 第12回 現場実践の紹介と分析1（ビデオを見る）
- 第13回 現場実践の紹介と分析2（ゲストティーチャ の話を聞く）
- 第14回 「総合的な学習の時間」において求められる教師の力量
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。（30％）さらに、模擬授業に対する取り組み、学習指導案の作成の緻密さなどを評価する。（30％）さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。（40％）

準備学習・復習及び授

自分の体験してきた「総合的な学習の時間」を、単元ごとに整理しておくことよい。また、日頃から自分が教育現場に出た際をイメージして、授業に臨むようにしたい。

履修上のアドバイス及

講義中の私語・飲食・携帯電話の使用を禁止する。20分以降の遅刻は認めない。違反する者、他者に迷惑をかけ得る言動をする者には退出を命ずることがある。資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに出席した学生などから資料をコピーさせてもらうこと。

教材・教科書

矢野正・宮前桂子「教師力を高める学級経営」久美出版
文部科学省「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」東洋館出版社

参考書

授業時に、適宜指示する。